



2022年10月28日

各位

上場会社名 北海道電力株式会社
 代表者 代表取締役 社長執行役員 藤井 裕
 (コード番号 9509 東証プライム・札証)
 問合せ先責任者 経理部決算グループリーダー 磯野 高史
 (TEL 011-251-1111)

(訂正)「2022年度第2四半期(4~9月)決算について」の一部訂正に関するお知らせ

2022年10月26日15時に公表した標記開示資料について、下記のとおり訂正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●訂正の理由

記載内容の一部に誤りがありましたので、これを訂正いたします。

●訂正の内容

訂正箇所につきましては、赤枠を付して表示しております。

■第2四半期 連結経営成績・財政状態(2ページ)

1株当たり四半期純損益の増減金額

(訂正前)

経営成績(累計)

(単位:億円)

	当第2四半期 (A)	前第2四半期 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	3,868	2,734	1,133	41.5
営業損益	△ 9	271	△ 281	—
経常損益	△ 10	227	△ 237	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△ 16	174	△ 190	—
1株当たり四半期純損益	△ 11円29銭	81円71銭	93円00銭	

(訂正後)

経営成績(累計)

(単位:億円)

	当第2四半期 (A)	前第2四半期 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	3,868	2,734	1,133	41.5
営業損益	△ 9	271	△ 281	—
経常損益	△ 10	227	△ 237	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△ 16	174	△ 190	—
1株当たり四半期純損益	△ 11円29銭	81円71銭	△ 93円00銭	

以上

2022年度第2四半期（4～9月）決算について

2022年10月26日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第2四半期 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□第2四半期 連結決算の概要	．．．	3
□2022年度 連結業績予想	．．．	4
□2022年度 期末配当予想	．．．	5
□参考資料	．．．	6

■ 第2四半期 連結経営成績・財政状態

経営成績（累計）

（単位：億円）

	当第2四半期 (A)	前第2四半期 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	3,868	2,734	1,133	41.5
営業損益	△ 9	271	△ 281	—
経常損益	△ 10	227	△ 237	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△ 16	174	△ 190	—
1株当たり四半期純損益	△ 11 ^円 29 ^銭	81 ^円 71 ^銭	△ 93 ^円 00 ^銭	

財政状態

（単位：億円）

	当第2四半期末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	20,756	19,928	828
純資産	2,813	2,857	△ 43
自己資本比率	12.9%	13.7%	△ 0.8%

■ 第2四半期 連結決算の概要

売上高 (増収)	燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加や 小売・他社販売電力量の増加などにより、 前年同期に比べ1,133億円増加の3,868億円となりました。
経常損益 (損失)	燃料価格の上昇や 市場価格の上昇に伴う電力調達費用の増加などはありませんでしたが、 経営効率化の深掘りなどに取り組んだ結果、 前年同期に比べ237億円減少し、10億円の損失となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純損益 (損失)	経常損失となったことなどにより、 前年同期に比べ190億円減少し、16億円の損失となりました。

■ 2022年度 連結業績予想

<2022年9月22日に公表した業績予想から変更なし>

- ・通期の連結業績につきましては、小売・他社販売電力量は概ね想定どおりに推移していることから、9月公表値から変更ありません。
- ・なお、燃料価格や電力市場価格は大きく変動しておりますが、今後の動向等を引き続き見極めてまいります。

(単位：億円、億kWh)

	2022年度 見通し (A)	2021年度 実績 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	9,700程度	6,634	3,070程度
営業損益	△640程度	249	△890程度
経常損益	△700程度	138	△840程度
親会社株主に帰属する 当期純損益	△710程度	68	△780程度
(対前期増減率) 小売・他社販売電力量	(5.4%程度) 315程度	(12.7%) 299	16程度
(対前期増減率) 小売販売電力量	(7.1%程度) 237程度	(△2.3%) 222	15程度

※小売販売電力量および小売・他社販売電力量は、北海道電力(株)、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コグリーション(株)の販売電力量を示す。

【主要諸元】

為替レート (円/\$)	137程度	112	25程度
原油CIF価格 (\$/bl)	100.0程度	77.2	22.8程度

※10月以降、為替レートは140円/\$程度、原油CIF価格は95\$/bl程度と想定しております。

■ 2022年度 期末配当予想

- ・2022年度の期末配当予想につきましては、2022年9月22日の公表から変更はなく、引き続き未定とさせていただきます。
- ・今後の燃料価格や電力市場価格の動向等を見極めることとし、配当予想が可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

【1株当たり配当金】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2021年度 (実績)	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2022年度	0円 (実績)	未定	未定	0円 (実績)	未定	未定

■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常損益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結キャッシュ・フロー計算書
- ・連結経常損益の変動要因（対前年同期比較）

業績予想

- ・連結経常損益の変動要因（対前年度比較）

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
経常収益	営業収益（売上高）	3,868	2,734	1,133	41.5
	電気事業営業収益	3,627	2,551	1,076	42.2
	その他事業営業収益	241	183	57	31.4
	営業外収益	52	30	22	74.3
合計		3,921	2,764	1,156	41.8
経常費用	営業費用	3,878	2,463	1,414	57.4
	電気事業営業費用	3,663	2,300	1,363	59.3
	その他事業営業費用	214	163	51	31.7
	営業外費用	53	74	△ 20	△ 28.1
合計		3,931	2,537	1,393	54.9
[営業損益]		[△ 9]	[271]	[△ 281]	－
経常損益		△ 10	227	△ 237	－
渴水準備金引当又は取崩し		3	△ 2	5	－
税金等調整前四半期純損益		△ 13	229	△ 243	－
法人税等		2	53	△ 51	△ 95.9
四半期純損益		△ 15	176	△ 192	－
非支配株主に帰属する四半期純利益		0	1	△ 1	△ 88.0
親会社株主に帰属する四半期純損益		△ 16	174	△ 190	－
(参考)	四半期包括利益	△ 14	168	△ 182	－

連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株)	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG棧橋(株)
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

連結決算－販売電力量

- ・小売販売電力量は、当社とご契約いただいたお客さまが増加したことなどから、合計で10,679百万kWh、対前年伸び率7.6%となりました。
- ・他社販売電力量は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に伴う販売量の増加などから、合計で3,625百万kWh、対前年伸び率6.6%となりました。

(単位：百万kWh)

		当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期増減率%	
小 売	低 圧	電 灯	3,590	3,761	△ 171	△ 4.6
		電 力	626	645	△ 19	△ 2.9
		計	4,216	4,406	△ 190	△ 4.3
	高圧・特別高圧		6,333	5,478	855	15.6
	小計(※1)		10,549	9,884	665	6.7
	その他(※2)		130	39	91	228.3
	合計		10,679	9,923	756	7.6
他社販売電力量		3,625	3,402	223	6.6	
小売・他社販売電力量合計		14,304	13,325	979	7.4	

※1 小計欄は、北海道電力(株)の販売電力量を示す。

※2 その他欄は、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コクリエーション(株)の販売電力量を示す。

- ・ 泊発電所が全基停止していましたが、出水率が106.0%と平年を上回ったことや、供給設備の適切な運用により、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
発電 電 力 量	(出水率%)	(106.0%)	(88.7%)	(17.3%)	
	水 力	2,370	1,972	398	20.2
	火 力	6,642	7,402	△ 760	△ 10.3
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	
	新エネルギー等	49	42	7	17.6
計		9,061	9,416	△ 355	△ 3.8
他社受電電力量※		6,519	5,087	1,432	28.1
揚 水 用		△ 286	△ 134	△ 152	112.7
合 計		15,294	14,369	925	6.4

※他社受電電力量には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくでんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当第2 四半期連結 累計期間 (A)	前第2 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因	
売 上 高	3,868	2,734	1,133	41.5		
電気事業営業収益	3,627	2,551	1,076	42.2		
2 社 合 計 ※	電 灯 ・ 電 力 料	2,591	1,992	598	30.1	・燃料費調整額の増加 ・小売販売電力量等の増加
	そ の 他	1,044	564	480	85.1	・地帯間・他社販売電力料の増加 ・託送収益の増加
	地 帯 間 ・ 他 社 販売電力料(再掲)	754	325	428	131.6	
	託送収益(再掲)	237	206	30	14.8	
子会社・連結修正	△ 8	△ 5	△ 2	46.3		
その他事業営業収益	241	183	57	31.4		
営 業 外 収 益	52	30	22	74.3		
経 常 収 益	3,921	2,764	1,156	41.8		

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常損益）

（単位：億円）

	当第2 四半期連結 累計期間 (A)	前第2 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
電気事業営業費用	3,663	2,300	1,363	59.3	
2 社 合 計 ※					
人 件 費	280	274	6	2.2	
燃 料 費	965	437	528	120.8	【増加要因】 ・燃料価格の上昇 ・小売・他社販売電力量の増加
購 入 電 力 料	1,195	421	773	183.4	・市場価格の上昇に伴う電力調達費用の増加 【減少要因】 ・水力発電量の増加
修 繕 費	262	241	21	8.9	・発電設備に係る修繕費の増加
減 価 償 却 費	358	349	9	2.6	
そ の 他 費 用	622	598	23	3.9	
子会社・連結修正	△ 22	△ 22	0	△ 2.2	
その他事業営業費用	214	163	51	31.7	
営 業 外 費 用	53	74	△ 20	△ 28.1	
支 払 利 息 (再 掲)	46	47	△ 1	△ 2.2	
経 常 費 用	3,931	2,537	1,393	54.9	
経 常 損 益	△ 10	227	△ 237	—	

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結決算－セグメント情報

- ・北海道電力セグメントの売上高は、前年同期に比べ874億円増加の3,393億円となり、セグメント損益は、燃料価格の上昇や市場価格の上昇に伴う電力調達費用の増加などはありませんでしたが、経営効率化の深掘りなどに取り組んだ結果、前年同期に比べ234億円減少し、16億円の経常損失となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は、前年同期に比べ585億円増加の1,692億円となり、セグメント損益は、燃料価格の上昇に伴い需給調整に係る費用が増加したことなどにより、19億円の経常損失となりました。
- ・その他の売上高は、前年同期に比べ83億円増加の666億円となり、セグメント損益は、電気通信事業の携帯電話事業者への回線提供収入が増加したことなどにより、前年同期に比べ3億円増加し、40億円の経常利益となりました。

(単位：億円)

	当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	3,868	2,734	1,133
北海道電力	3,393	2,518	874
北海道電力ネットワーク	1,692	1,106	585
その他※1	666	582	83
調整額※2	△1,883	△1,472	△410
セグメント損益（経常損益）	△10	227	△237
北海道電力	△16	217	△234
北海道電力ネットワーク	△19	△12	△7
その他※1	40	36	3
調整額※2	△14	△14	0

※1「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※2「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

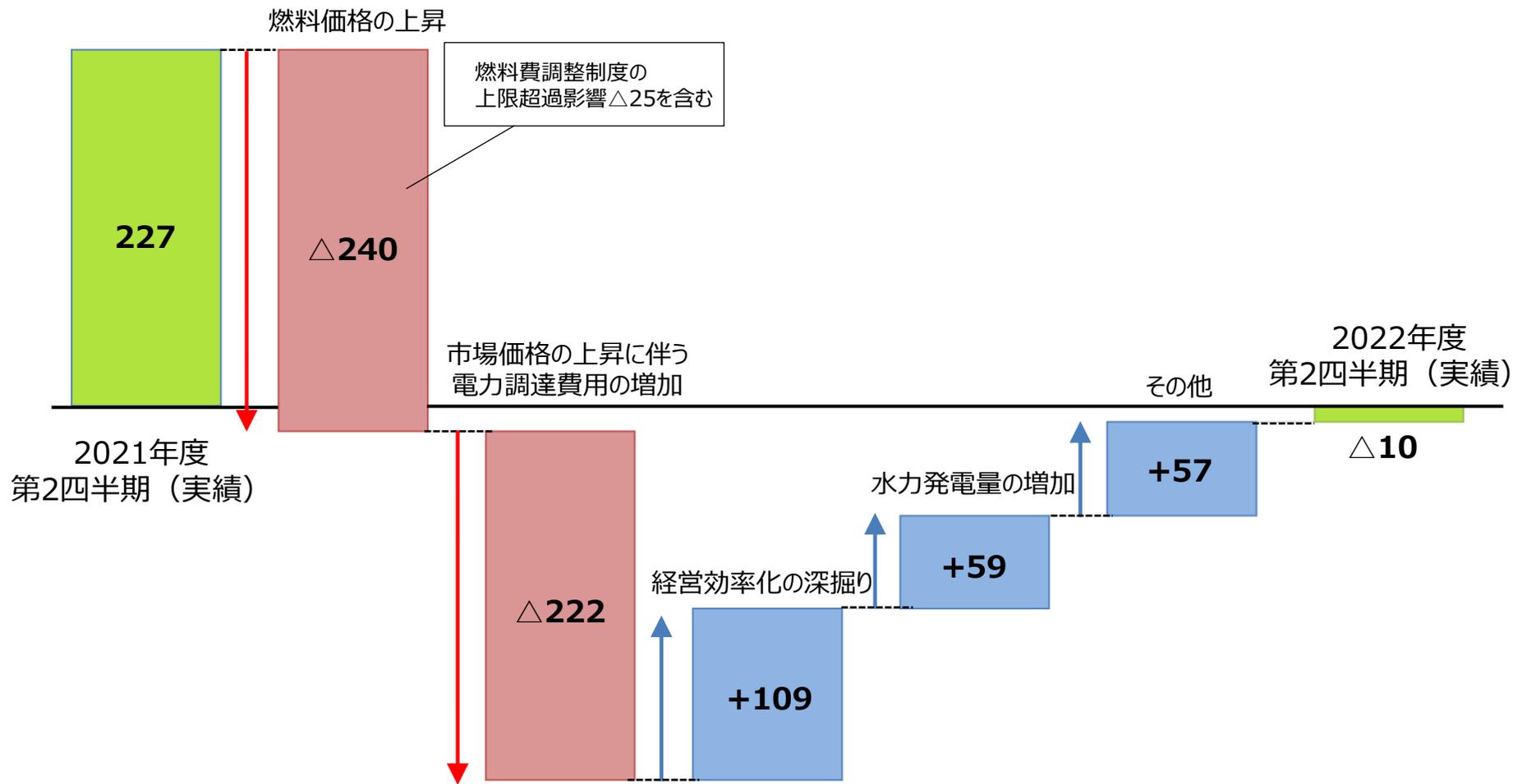
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失を計上したことや燃料価格の上昇による棚卸資産の増加などにより、前年同期に比べ459億円減少の318億円の支出となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出の増加などにより、前年同期に比べ142億円増加の459億円の支出となりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の増加などにより、前年同期に比べ771億円増加の832億円の収入となりました。
- ・以上の結果、現金及び現金同等物は、期首に比べ53億円増加の942億円となりました。

(単位：億円)

	当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)
I . 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 318	140	△ 459
II . 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 459	△ 317	△ 142
差 引 C F (I + II)	△ 778	△ 176	△ 601
III . 財務活動によるキャッシュ・フロー	832	60	771
IV . 現金及び現金同等物の増減額 (I + II + III)	53	△ 116	170
V . 現金及び現金同等物の期末残高	942	721	221

第2四半期（連結決算）－ 経常損益の変動要因（対前年同期比較）

（単位：億円）



連結業績予想－経常損益の変動要因（対前年度比較）

（単位：億円、億円程度）

